

# 農業

AGRICULTURE  
も・つ・ど・知・り・た・い・ね・農・業

一億総グルメと言われる現代、「食」に対する消費者ニーズはますます多様化しています。しかし、その「食」の源である農業のことまでしっかりと考えている人は意外に少ないのかも知れません。

とりわけ熊本県は、農業粗生産額全国五位の食料供給県。これまで、生産量日本一のスイカやメロンをはじめとして、各時代の消費者ニーズに対応した質・量を誇る農産物を育んできました。

しかし、最近の消費者ニーズの多様化や農業者の減少・高齢化、さらには牛肉・オレンジ完全自由化への対応と、全国的な農業の転換期の中にあることもまた事実です。

今回の特集は、このような農業をめぐる新しい環境の変化の中で、消費者ニーズに対応して独自の取組みを続ける農家の方々と、それを支援する県の施策を紹介しながら、命の源・農業を考えます。



## 消費者ニーズに応え 付加価値の高い商品を



有機栽培のために  
深く掘られた溝

### 食のふるさとづくりを進める清和村

「すべては消費者との出会いから始まりました」と語る熊本県清和農業協同組合の馬原耕一郎指導課長。昭和五十五年、「子供たちに安全な食物を」という生協会員の要望にこたえて、まず低温殺菌で細菌数の少ない牛乳づくりが始まった。百㍑中に細菌数四百万個でAクラスだが、それを十万個に減らして欲しいという消費者側の要求であった。農家側にはどうしてそこまでしなければならないのかという反発もあった。しかし今後は、消費者ニーズに応える產品づくりに努め、直接取り引きしていくべきだと判断から酪農家十六戸全戸で取り組んだ。牛の乳房炎を防ぐため、毎日一回の乳房の検査、畜舎の衛生管理、牛体の管理、自給飼料での飼育と努力を重ねた。牛の乳房を清潔に保つために、消費者からはタオルと洗濯機が届けられた。

メーカー、消費者、生産者で月一回の会議を持った。そういうたつ努力が実り、六十年に七十五㍑の殺菌で細菌數十万个にまでおさえたバスチャライズ牛乳が、さらに六十二年には脂肪球を壊さない牛に近いノンホモ牛乳が誕生した。この過程で視察に来ていた消費者が、野菜や米も安全でおいしいものが採れるのではないかと提案し、五十七

「すべては消費者との出会いから始まりました」と語る熊本県清和農業協同組合の馬原耕一郎指導課長。昭和五十五年、「子供たちに安全な食物を」という生協会員の要望にこたえて、まず低温殺菌で細菌数の少ない牛乳づくりが始まった。百㍑中に細菌数四百万個でAクラスだが、それを十万個に減らして欲しいという消費者側の要求であつた。農家側にはどうしてそこまでしなければならないのかという反発もあった。しかし今後は、消費者ニーズに応える產品づくりに努め、直接取り引きしていくべきだと判断から酪農家十六戸全戸で取り組んだ。牛の乳房炎を防ぐため、毎日一回の乳房の検査、畜舎の衛生管理、牛体の管理、自給飼料での飼育と努力を重ねた。牛の乳房を清潔に保つために、消費者からはタオルと洗濯機が届けられた。

メーカー、消費者、生産者で月一回の会議を持った。そういうたつ努力が実り、六十年に七十五㍑の殺菌で細菌數十万个にまでおさえたバスチャライズ牛乳が、さらに六十二年には脂肪球を壊さない牛に近いノンホモ牛乳が誕生した。この過程で視察に来ていた消費者が、野菜や米も安全でおいしいものが採れるのではないかと提案し、五十七



清和農協アンテナショップ